

先生に聞く、 経済学の 現在と これから

経済の何を学び、
社会の何を解決するのか。

現代経済学科

豊かな経済社会に必要な 政府の役割を考える

国や自治体の公共サービスや、政府の活動を研究しています。不景気や少子化などの困難の中、福祉の向上のために政府はどう取り組むべきか、豊かな経済社会の実現に向けての財政、社会保障のあり方を一緒に考えましょう。

中野 英夫 教授



政府の活動を 経済学で分析する

私は財政分野、主に租税について研究しています。「公共経済学」の授業では「ミクロ経済学」の分析手法を用いて、同じ税金を得る場合に所得税、消費税、法人税のどれを増税すべきかなど現実的な話題を議論しています。

鈴木 将覚 教授



現代経済における 貨幣の意義を考える

貨幣の存在意義や経済での役割、その存在を前提とした時マクロ経済はどうなるか等を研究しています。FinTechの発達でキャッシュレスが身近になった今、これらは重要な問題となりますのでみなさんと一緒に考えたいです。

石原 秀彦 教授



生活環境経済学科

ジェンダーの視点から 政府統計を検討する

男女の格差や差別の現状を把握する手段の一つが統計データです。しかし、そのデータが正確でなければ問題は見えません。こうした点に着目し政府統計をジェンダーの視点から検討する、ジェンダー統計を研究しています。

杉橋 やよい 教授



社会と経済の連関を 理論的に把握する

身近な商品・貨幣の成立の仕組みから始まり、資本・信用・景気循環などの原理的な仕組みを研究しています。また、現代の世界資本主義におけるグローバル化・金融拡大・格差拡大など諸問題の連関についても研究しています。

新田 滋 教授



労働者に着目して 経済の歴史を学ぶ

働く人の生活や働き方の変遷に着目し、主に欧州経済の歴史を研究しています。私たちは何らかの形で「働く」こととなります。国家(政府)や企業の動向に加え、そこで「働く」人々の歴史を学ぶことは有意義な経験になるはずです。

柘田 大知彦 准教授



国際経済学科

発展途上国における 工業化の影響を分析する

かつての日本のように、ここ30年間でインドの社会や経済は大きく変化しました。どんな社会でも時間とともに人々の考え方や行動様式は変化します。工業化の進展の条件や、経済に与える影響について一緒に勉強しましょう。

内川 秀二 教授



経済の相互依存と 諸国の課題を分析する

私たちは、グローバル化し相互依存した世界に生きています。経済学の基本的な分析方法を利用して依存した内外経済を観察し、近隣諸国が抱える課題と解決策を考えることは有意義かつエキサイティングな知的活動です。

大倉 正典 准教授



数式で貿易と水産 そして社会を解明する

専門は貿易理論で、世界的に望ましい貿易や再生可能資源を入れた貿易の理論的解明を目指しています。そこからICTなどを駆使した国際経済、資源やエネルギー、ソフト・アプリを活用した計算法や数学などを教えています。

小川 健 准教授

